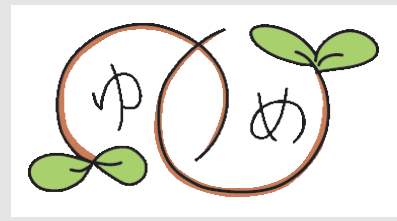
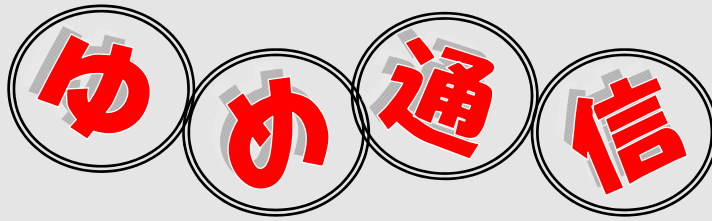


第12号
2009.6.30 Tue

地域づくり考房『ゆめ』



地域づくり考房『ゆめ』は、大学で学んだ知識や技術を学生が地域づくりの中で実践的に生かしていくことを目指しています。

“ゆめ”の由来・・・結芽『ニーズの芽を結ぶ場所』+夢+遊眼『遊び心の視点を持つ眼』



学校法人松本学園
松本大学



地域づくりの実践学

松本大学学長 菴谷利夫

最近の大学教育では、教育と研究のほかに、社会連携・社会貢献が重要な役割として強調されるようになりました。特に松本大学のような地域に支援されて創設された「地域立」大学では、地域づくりへの貢献が特に大切なことです。そして学生の大半は卒業後「地域」に戻って活動するので連携・貢献を通して得た知識技能や意欲、心構えなどをその地域社会づくりに活かしていくことが期待されます。

地域づくりを学ぶといっても、インサイドキャンパスでの机上学だけでなく、アウトサイドキャンパスでの様々な実践学が大切となります。松本大学では建学以来、この発想のもとに着実に、様々な地域づくり貢献事業が拡充展開されています。

新入生達は、入学後のオリエンテーションで、考房『ゆめ』を通じたボランティア活動、もの作り活動、交流活動などに新鮮な刺激を受けて、大勢が参加していると聞いています。ボランティア活動は、言い換えれば、自己を活かす活動であり、自己実現活動でもあります。高校では、授業時間的な制約や受験勉強のため、やりたくても出来なかった“ゆめ”が、大学では実現の可能性が高まる環境下に置かれ、大学がそのための条件を整えます。

“ゆめ”を通しての地域連携・地域貢献活動は今後とも地域からの申出が増加するとともに、学生や教職員の発想も拡がり、益々多様化・高度化していくことが予想されます。

Topics

- ゆめ通信編集委員がプロジェクトリーダーにインタビュー！
『わたしたちの活動紹介』
- 学生の地域連携活動
・フリマネット信州
- 平成21年度
学生チャレンジ奨励制度
承認プロジェクト決定！
- WORK-STATION
オープニングイベントを終えて
- 掲示板（参加者募集）
・子ども広場
・松本神社の神輿担ぎ
・Sign
—手話DE交流—
・さいさい祭
- つぶやき

プロジェクトリーダーに聞く！私たちの活動紹介

今年は、継続して活動している団体はもちろん、新たな学生プロジェクトも多く発足し、例年にも増して考房『ゆめ』が賑やかになっています。新入生も大勢活動に参加し始めています。今回はプロジェクトのリーダーたちにどんな思いで活動を行っているのかをゆめ通信の編集委員がインタビューしました。

インタビュー項目



- ①活動の目的、内容は？
- ②活動を通しての感想は？
- ③活動のアピールをどうぞ！

松本大学 キッズスポーツスクール



スポーツ健康学科4年
林 孝行さん

- ①未就学児の小さい子どもへ運動の楽しさを伝えることを主に活動しています。また、活動を通じて身体の発達支援もしています。今はサッカーを中心に、月2回程度様々なスポーツを通じ、子ども達と活動しています。スポーツの指導者として運動を教えたり、子ども達の感情を理解できるように、学生スタッフのサポートを行ったりして、活動しています。
- ②子ども達が笑った時や、出来なかったことが出来た時の喜びがあり、やりがいを感じます。また、子ども達へ自分の思いが伝わらなかったり、後輩の育成が難しかったり、大変な事ばかりですが、それらを通して、指導力や自信、気配りなどいろいろと成長したと感じます。
- ③人によって感じ方・価値観は違うので、後輩にはやりたいようにやってもらいたいと思っています。中途半端な考えだと子ども達に迷惑をかけてしまうので、苦になったらやめてもらっていいと考えています。「心身ともに健康」というように、運動を通して心に楽しみを見つけてもらえれば嬉しいです。

- ①かえるまつりは人通りの少ないナワテ通りを地域の方々が活性化させようと、古くからゆかりのあるカエルをシンボルに、学生のアイデアも取り入れ、毎年梅雨どきに開催しています。活動していく中でナワテ通りの幅広い年代の方々や他の学校の方々と交流して沢山のことを学んでいます。
- ②最初は授業で参加していましたが、だんだんかえるまつりの楽しさを知り、進んで参加するようになりました。今年は全体の責任者になって今までより深く関わるようになり、予算やイベントの細かい事など、やる事が沢山あって大変ですが、お祭りを一から作る時に、どんな事が大切なのか、人の上に立つことがいかに難しいか、それら全てが良い経験になっていると思います。
- ③6月の27日、28日の日曜日に松本市ナワテ通りでかえるまつりを開催します。テーマは「昔ニカエル」で、昭和あそび広場も開かれます。とても楽しいお祭りなので皆さんぜひお越し下さい。

ナワテ通いかえるまつり



観光ホスピタリティ学科4年
小澤 悠維さん

波田町日本語教室



松商短期大学部2年
大石 春菜さん

- ①波田町中央公民館にて毎週土曜日午後7時～9時に、外国人の方に1対1で日本語を教えています。外国人の方に日本語を教えながら異文化交流をして、人に教えるという力を身に付ける事が目的です。普段の活動の他にも6月はふれあいランチパーティの開催、7月に行われる波田町の夏祭り『さいさい祭』等にも参加します。
- ②相手と言葉が通じないので、最初は絵を描くなどの工夫をしてコミュニケーションを取ります。初めて来た全く日本語が解らない方に一から教えて、最後に『ありがとうございます』などの日本語を使って頂けるととても嬉しく、やりがいを感じます。ふれあいランチパーティで日本の料理を紹介、逆に外国の料理を紹介してもらい、一緒に料理が出来るのは貴重な体験です。
- ③様々な国、年代の方が来るので国際交流に興味のある方の参加をお待ちしています。また、7月25日のさいさい祭で国際交流コーナーを開くのでお暇な方はぜひ遊びに来て下さい。

ペロタクシー



観光ホスピタリティ学科4年
平田 竜一さん

- ①松本城や市街地でペロタクシーを運転することによって、お客様に喜んでもらうことと同時に、地域のより良い街づくりを考えていくことを目的としています。内容はペロタクシーの運転を行うことで、松本カーフリーデーや松本手まり祭りなど地域のイベントと一体になって運営を行うなど幅広く活動しています。活動は、アルバイトも兼ねているので、時間が沢山とれる土日等で行っています。
- ②お客様と接する中で、松本の町について語るといことがうれしいし、楽しく思っています。しかし、自転車のタクシーなので、運転に慣れるのにすごく時間が掛かり最初は大変でした。また、タクシーという一面を持っているので、予約のお客様と待ち合わせをしている時に、情報網を作って工夫していますがお客様に会えず、お叱りを受けたりしてしまい大変です。
- ③ペロタクシーは、歩きやバス・車で街を回るのは違い、独自の視点で外の風を感じながら気持ち良く旅をすることができる乗り物なので、ぜひ皆さんに利用してほしいと思っています。また、もし興味を持ちましたらドライバーになってほしいと思います。

松本大学子ども見守り隊



総合経営学科4年
岩月 直也さん

- ①見守り隊は、小学生の登校時に危険な場所に立ち、子ども達の安全を見守ることを中心に活動しています。同時に子ども達へ挨拶をすることで健全な心の育成に繋がっています。朝7時くらいから芝沢小学校と三郷小学校にて活動中です。さらに、今年は警察との提携により、小学生と共に地域安全マップを作り、地域全体を守っていきたくと思っています。
- ②前例がない活動だけに、両方の小学校に協力を断られた時は落ち込みました。それでも諦めず、警察、地域の方、大学に協力をお願いし、やる気があることをアピールしているうちに校長先生からお願いされた時は、やってきたことは間違いではなかったと思いました。アンケートでは反対意見が無く、地域の人から認められるようになったのが嬉しかったです。
- ③自分のためになるし、損は無いと思います。そして、警察と繋がった活動でもあるので、就活にも非常に良い土台作りが出来ると思います。是非参加してみてください。

松本大学 ナーマル・プロジェクト



観光ホスピタリティ学科3年
藤牧 真美さん

- ①目的は、スリランカのナーマルという貧困地域の開発です。内容は、貧困地域の学校の先生はボランティアなので、やる気や教育の質を高められるのではと考え、チャリティーやバザーで得た収益金を給料として3名にお支払いしました。また、ベリーという農作物を商品開発するプロジェクトを始めました。その他に、古着を集め、貧困地域の方々に委託し現地で売って、その方達の収益にすることをやっていて、この三大プロジェクトが主な内容です。
- ②視察の時に現地の学校などに伺ったのですが、直に現地の方と触れ合えたのがすごくうれしかったし、意思疎通の上で支援をしていることが実感でき良かったです。しかし、古着販売では意思疎通が出来ていなかった事もあり難しいなと思いました。
- ③国際的なので取っ掛りにくいか、レベルを高く感じるかと思いますが、実際はそうではありません。また、5年計画で始めコツコツやっているのので、自分の出来る事を見付け、関われる範囲で参加して貰えればと思います。地域の方の人的な開発をコンセプトに、活動を通じて成長して欲しいなと思います。

地域交流和太鼓プロジェクト 「松風連」



観光ホスピタリティ学科3年
奥原 芳紀さん

- ①演奏を通じて地元の太鼓グループや、地域の方々と関わりを持ちながら、地域交流を目的にしています。
週に1回程梓川小学校の体育館をお借りして練習をしています。イベントや福祉施設でのボランティア演奏や、子供向けに和太鼓教室を実施するなど精力的に活動しています。また、自分たち学生だけでなく、地域の方々からもメンバーを募っていて、現在、地元の小中学生や社会人の方達も含め23人で活動しています。
- ②和太鼓には独特な響きがあり直接胸に響いてくるので、何とも言えない感動があり病みつきになっています。演奏ではお客様が喜んでいる姿を見るのが本当に嬉しいです。以前福祉施設にお邪魔した時に演奏を聴いて涙を流すおじいさんやおばあさんもいて、驚くとともにとても感動しました。今は、強くやりがいを感じています。
- ③日本の伝統文化に触れながら様々な方と交流できます。また和太鼓は運動にもなり色々な人が楽しめるものだと思います。サークル的な楽しみもあながら有意義な地域交流を目指すプロジェクトです。
松風連に出演依頼、参加希望などがあったら考房ゆめまで連絡をください。

こども広場

- ①核家族化でおじいちゃんおばあちゃんと暮らしていない子供たち、育児の不安を相談できずに困っているシングルマザー・ファザーの方々の為に親子のコミュニケーションの場を作ることが目的です。毎月1回、松本駅西口にある考房『ゆめ』の分室でおさがり交換会や手遊び、人形劇、リサイクルおもちゃ作り、紙芝居などを計画しています。
- ②勉強中の手遊びやわらべ歌をうまく子供たちに教えられるか、地域に子供が少ないのでどれくらいの方が来て下さるのが不安です。子供が好きな人や普段から子供たちと関わりを持っている人がメンバーなので、沢山の子どもたちや親御さん達と関わりを持って仲良くなれば良いと思っています。
- ③第一回の開催を7月25日の午前中、松本駅西口WORK-STATIONで開催します。企画段階で技術面も未熟ですが、コミュニケーションの場作りを目的としているので幅広い年代の方、また専門の方にも来て頂く予定です。みなさんに楽しんで頂けるよう頑張りますので気軽に遊びに来て下さい。



松商短期大学部2年
土屋 美和さん
北林 かおりさん

山形小学校 特別支援学級サポート



観光ホスピタリティ学科4年
丸山 伸二さん

- ①目的は特別支援学級の児童（教育上特別な支援を必要とする発達障害や知的障害の方）に他校との交流を行ったりする活動を通じて、自尊心の芽生えなどの成長を見守っていくことです。
内容は授業支援といって、学校の行事でスキー教室などに行ったときに、学校に残っている子どもたちの授業を見守り、必要に応じて教えたりします。また、他校との交流学习でララ松本で泳いだり、交流ピクニックに参加し、安全の配慮をしたり一緒に楽しみました。
- ②先輩の紹介で3年の秋に初めてこの活動に参加し、引き継ぎました。人数が少ないですし、活動は主に平日なので交通手段も含め、調整が大変だと思いますが、行ってみれば児童が慣れてきて「お兄さんが来てくれた」と言って懐いてくれるので、行く甲斐があります。子ども達の抱える障害のことはあまり気にせず接しています。そのくらい子ども達が元気だということです。障害についての理解も深まりますし、先生方の支援も勉強になります。
- ③ボランティア活動にめんどくさいイメージがあるかもしれませんが、実際に行けば子どもの元気な姿を見たり、懐いてくれたり、やりがいのある活動だと思います。逆に元気をもらったり、子どもにも良い刺激になるので、できればこれからも後輩の方にはこの活動を続けていってほしいと思います。興味がある方は参加してみてください。

古い電車で 新しい語らいの会



観光ホスピタリティ学科4年
渡辺 俊也さん

- ①地域の方や子ども達の居場所や、気軽に話せる場を作ることを目的に、新村駅にある既に使われていない5000系の電車を利用して、縁側づくりをしています。主に先輩方に作っていただいた花壇の花の植え替えと、3ヶ月に1回行う古い電車のイベント企画と運営をしています。これまでにふるさと鉄道祭り、くつ下カバー作り体験、マグカップを作る体験を実施しました。
- ②学校の奨励金で運営している為、メンバーがいないと予算がもらえなくて大変です。今年は多くの短大生が入ってくれて、非常に嬉しかったです。あと、多少ですが、子どもへの接し方が分かるようになりました。子どもと同じ目線で話すと安心感を与えられると勉強したのに、ついつい上から目線になってしまい、非常に大変でした。
- ③いろんなイベントを企画していますが、毎回同じイベントでは飽きられてしまうので、違ったイベントの開催をしていこうと考えています。今まで先輩達が築き上げてきたものは崩さずに、新たなものを付け加え発展させていきたいです。また、地域と一緒に活動していきながら松本電鉄の活性化に繋げていきたいと思っています。

地域の ヘルシーメニュー



健康栄養学科2年
小野 萌さん

- ①食を通じて地域の方々に健康の意識や、食について知ってもらうというのが一番の目的です。それに健康栄養学科で、日頃から学んでいることを活かせるばいと思っっています。活動の内容としては、いろいろな地域の方と一緒にヘルシーなメニューを思案し、地域の活性化などに貢献できればいいと考えています。そもそもこの活動を始めようと思ったきっかけは、松本大学には栄養学科があるのに学食にヘルシーメニューがないのはもったいないと思っ、最初のころは学食のことについての活動をしていました。しかし、地域との交流や活性化など地域と密着した活動をしてみたくなりこのような活動になりました。
- ②活動はまだ始まったばかりなのでこれから企画を立てて、楽しくやりがいのある活動をしたいと思っっています。今は浅間温泉活性化のため、旅館関係者の皆さんとプロジェクト開発を企画しています。
- ③松本の広大な大地を活かした食材を使い、健康で身体に良いメニューを考えたいと思っいます。そして、それがうまくいったら是非今年の学園祭には出展したいです。

Peace of mind



観光ホスピタリティ学科4年
下澤 裕一さん

- ①主に松本市在住の戦争体験者の方に戦争体験の聞き取り調査をしています。また、あらゆる年代の方に平和体験などを伝えていく活動をしています。これまでに聞き取り調査以外に、メンバーがcattyというバンドを組んで戦争体験を基に歌をつくったり、中央公民館の子ども読み聞かせイベントでそれぞれの特技を活かし戦争体験を伝えたり、若い人でも理解し、関心を持ってもらえるように活動しています。今後は聞き取り調査の結果を冊子にする予定です。
- ②私の考えは、平和とは「安心した生活が送れる事」だと思います。イラクの人と直接話す機会があり、私たちの生活が少なからずイラク人の生活を揺るがしてきた事実を聞いた時は、悲しくて涙が出ました。「君がイラクの為に泣けるなら、僕らは友達だ。」と活動先の方に言われた時は非常に嬉しかったですし、イラク人の為に泣けることは活動の推進になり、大きな活力・糧になりました。
- ③人それぞれ考えていることが違う為、価値観を大事にしています。また、メンバー間の思いや、聞き取った人の思いを無にせず、共有することを大切にしています。人の広がりも豊富で、他人の考えを吸収し、違った見方が出来るようになると思っいます。

松本神社 神輿担ぎプロジェクト



観光ホスピタリティ学科3年
有賀 卓也さん

- ①交流を持ちながら、また、日頃お世話になっている地域住民の方々の役に立てることはないかと思い参加しました。高齢化で毎年神輿担ぎの人手不足と聞いたので、学生で神輿を担ぎ祭りを盛り上げようと活動しました。松本神社や松本城などの古い歴史なども学びます。ただ祭りを楽しむだけでなく、自分の住んでいる地域の歴史を学ぶことによって、また一段と祭りを盛り上げられるのではないかと考え企画しました。
- ②僕たちは去年から活動しているのですが、地域の歴史について勉強できたり、自衛隊の方々の参加もあり、楽しく神輿が担げ大いに祭りを盛り上げることができました。
- ③7月の11日に神輿を担ぎます。興味のある方は是非参加して下さい。謝礼金が5千円出ます。そしてお風呂に入れたり、お酒なども飲めます。また、前日の10日には神社で出店や花火大会なども実施する予定ですので、是非1度松本神社へ足を運んでみてください。毎年この活動を引き続き行ってほしいので、1・2年生の方は参加するだけでなく祭りを盛り上げるために主催者となり、自分たちで企画してみたいかがですか。

- ①今はまだ企画の段階ですが、手話に興味のある人が集まって、みんなで計画を立てているところです。大学には手話に関する活動がなく、ずっと活動したいと考えていました。手話サークルと言ってしまうとそうなのですがそれだけではなく、手話の勉強をして、実際に聾の方と自分の学んできた手話でコミュニケーションを取っていきたいと思っています。松本ろう学校への訪問も考えています。
- ②以前から社協で手話の勉強をしていました。その教室では同年代の人は少なく、主婦の方が多かったので距離を感じて不安がありました。この活動を通して、同年代の松本ろう学校の多くの子供の方々と関わりが持てれば、今まで以上に楽しく勉強ができるのではないかと楽しみにしています。
- ③新しく始まっていくプロジェクトなので、参加して下さる皆さんと一緒に作っていったら良いなと思っています。興味のある方はぜひ参加して下さい。

Sign ～手話始めませんか～



観光ホスピタリティ学科2年
上山 聡子さん

フリマネット 信州に参加して



フリマネット信州では、フリーマーケットを中心に、環境問題・障害者アート展の企画支援、作業所・福祉施設への寄付、作品販売などの支援、外国籍未就学児童就学支援基金の支援などにも取り組んでいます。私は社会問題について理解を深めることをテーマにし、この団体へ参加させていただきました。

フリーマーケットに参加するだけでなく、ゴミ処理場への見学や、外国籍の子供たちが通う学校などの見学をさせて頂いて、報道でしか知らなかった社会問題を身近な問題として意識ができ、それに自分はこういった行動を起こしていくべきなのかを考えさせられました。その中でも、外国籍未就学児童について関心が一番強く、今はその支援の為にチャリティー活動に力を入れています。

今回のような貴重な経験をさせていただいて、自分の視野の狭さを実感しました。今後も引き続き、活動の幅を広め、多くの人と関わりながら社会問題への理解を深めていきたいです。

(観光ホスピタリティ学科2年 竹内 希さん)

H21年度 学生チャレンジ奨励制度発表

松本大学地域づくり考房『ゆめ』では、今年度も本学学生の社会参加への活動支援である奨励制度を行います。6月9日に選考審査会を実施し、下記の事業に奨励金が支給されました。

● 松本大学キッズスポーツスクール

● 地域交流和太鼓連プロジェクト「松風」

● Peace of Mind

● 古い電車で新しい語らいの会

● 松本大学子ども見守り隊

● 地域のヘルシーメニュー

● ハートビート～響け！心の音

● こども広場



WORK-STATION オープニング イベント

3月7日、松本駅西口に新しく開設した地域づくり考房『ゆめ』の分室、WORK-STATIONのオープニングイベントが行われました。地域住民や学生、関係者など約200名が参加。みんなでまちづくりについて考えました。



ワーク☆ラリーで情報交換



参加者の方より

私は今、安曇野市ブランド作りの地域作り部長をしています。松本大学前学長の中野先生との出会いにより、日本大学の高橋先生、松本大学の白戸先生、考房『ゆめ』との出会いがありました。地域の人たちと学生、そして企業と共にいろんな県に寄らせてもらい、そこで住民との交流を通してその人たちの思い、実行力、夢を見せてもらいました。

大学と住民と企業、そして行政が共にスクラムを組む。それが考房『ゆめ』の向かう方向だと思います。今回のオープニングイベントでも、それが見られました。

今年も、アルプス花街道に1,500人、85の団体が集い、7キロ近い道路に花が植えられ、大学の学生たちも参加してくれました。多くの仲間・団体がまちを作り、それを花火の様に打ち上げる。瞬きの間に輝きは失われますが、それを続けることが地域づくりだと思います。

今年も安曇野では、安曇野フェスタをはじめ、多くのイベントが目白押しですが、そのひとつひとつがまちの賑わいを、住民の心意気を上げてくれると思います。その中で笑顔が溢れ、会話ができる。お互いにそんな意識でまちづくりをしましょう！

(安曇野市 等々力 秀和さん)

3月7日に地域づくり考房『ゆめ』WORK-STATIONオープニングイベントが開催され、当日は松風連の演奏を皮切りにいろいろなイベントが催されました。

最初は愛知産業大学大学院教授の延藤先生による講演が行われ、今後、大学が地域と連携して行う地域づくり事業に役立つ情報を得ることができました。

続いて地域の方々を交えたワーク☆ラリーが行われました。私はキッズスポーツスクールのスタッフとして参加しました。多くの方が「ぜひ、子どもにやらせたい」「孫にやらせたい」と活動に興味、関心を示してくれたのが大きな収穫でした。それと同時により良い活動を展開するために、もっと工夫しなくてはいけないと感じました。

最後のシンポジウムでは、ラジオパーソナリティーの伊織千佳子さんをメイン司会、延藤先生をコメンテーターに迎え、今後のまちづくりについて話し合いました。参加者全員がまちづくりについて考え、意見を出し合うことで、学生以外の地域の方の意見を聞くことができ、勉強になることがたくさんありました。

今回の体験を活かし、私たちの活動の目的である「様々なスポーツに触れることで、健やかな心と身体を育ててもらいたい」という理念を発展させていきたいと思います。

(スポーツ健康学科3年 久保 拓也さん)

ブース出展者より

最近、大学も含めて学校が「地域に開かれた・・・」と謳いながら、とかく掛け声だけに終わっていることが多い。そんな中で、松本大学は「地域づくり考房『ゆめ』」を通して、そのコンセプトである「地域を活かすひとづくり大学」を着実に実践し、真に地域に根ざした大学として高く評価されていると思います。「ワークステーション」が松本駅の西口前に出来たことによって、松本大学がさらに一歩地域に近い存在になった気がします。

オープニングイベントに参加してあのように多くの団体・グループが、松本大学を中心に“輪”を形づくり横の連携を取っていけば、地域づくりネットワークの輪はさらに、確実に広がっていくように感じました。

地域のコミュニティが壊れていく中、「考房『ゆめ』ワークステーション」が大学キャンパスの外に拠点を設け、地域と直に触れ合う場を作っていただいたことによって、地域づくりの再生、地域の“幸せづくり”がさらに一層進むことが期待されます。そのためにも、ワークステーションが、いつでも気軽に立ち寄れる多様な人々の“話し合い”の場として「外に開かれた窓口」であって欲しいと思います。

(山形村子ども会育成会 中村 健さん)

WORK-STATIONでは、「何か活動してみたい」「地域活動に関心がある」といった学生、地域の方をお待ちしています。ワークステーションを使って、地域の元気をつくっていきましょう！子どもの遊び場や休憩スペースもありますので、気軽に足を運んでみてください！

掲示板

今回、松本大学で
新しいプロジェクトが誕生しました。

こども広場 ☺

こんにちは。こども広場です。私達は、親子のコミュニケーションの場作りとして松本駅西口WORK-STATIONに「こども広場」を立ち上げました。是非来て下さい。

★第一回★
日時：7月25日(土)
10:00～11:30
場所：考房『ゆめ』
WORK-STATION

9:45 おさがり交換会準備
10:00 おさがり無料交換会
七夕かざり作り
10:30 わらべ歌・手遊び
腹話術、手品

おさがり交換会では不要になった衣類や使わなくなった保育用品、おもちゃなどを当日9:45までにお持ち下さい。残った物はお持ち帰りいただけます。

松商短期大学部
土屋・北林・草間
スポーツ健康学科
吉沢

Sign ～手話交流～

大学内で手話を勉強するだけでなく、松本ろう学校の皆さんと交流し、実際に「手話」を通じてコミュニケーションを学びます。今後の活動内容は、集まったメンバーで決め、一緒に活動していこうと考えています。

少しでも手話に興味のある方、まずは、一緒に始めてみませんか？

観光ホスピタリティ学科2年
上山

一緒におみこし を担ごう！



松本神社 の神輿担ぎ

日時：7月11日(土) 午前8時～午後5時
場所：松本神社
事前勉強会：7月2日(木) 午後6時半～



謝礼が一人
5000円！！

観光ホスピタリティ学科3年
有賀・大久保・古林・内藤

グローバル アクション in さいさい祭

毎年恒例の町民が手作りでやっている、波田町さいさい祭に参加して、留学生の方々と交流します。留学生の方に日本文化(和太鼓の体験や花火等)に触れてもらいながら、交流する予定です。文化の違いなどを知って視野を広げませんか？大学からバスが出ます。多くの方、ご参加下さい。

日時：
7月25日(土) 15:00
松本大学ロータリー前出発

松商短期大学部2年
大石・熊井

考房『ゆめ』
では、ビデオ・
写真撮影スタッ
フ募集中です。

編集委員紹介

今号から学生が編集委員に加わりました。

観光ホスピタリティ学科4年 市村 一裕
観光ホスピタリティ学科3年 大久保 和樹
観光ホスピタリティ学科3年 有賀 卓也
松商短期大学部2年 大石 春菜
松商短期大学部1年 岩垂 朋美

★*・☆*・° つぶやき ☆*・° ★*:

今年から、考房『ゆめ』の編集委員になりました。まだまだ慣れないことばかりですが、自分なりに頑張っていこうと思いますのでよろしくお願いします。

今回は学生プロジェクトの特集で、プロジェクトリーダーの方にインタビューさせて頂きました。迷惑をかけてしまったこともあるかと思いますが、活動の詳しい目的や内容はもちろん、皆さんがどんな思いで活動に参加しているのかがわかることが出来て良かったです。そして何よりも『楽しみながら活動している』という様子を伺い知ることができ、私もうれしくなりました。インタビュー自体も良い経験になりました。ありがとうございました。

(松商短期大学部1年 岩垂 朋美)

掲示板への問い合わせ、「ゆめ通信」へのご意見・質問など、すべて下記へお願い致します。



松本大学 地域づくり考房『ゆめ』

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1
Tel: 0263-48-7213(直通)
Fax: 0263-48-7216(直通)
E-mail: community@matsu.ac.jp
URL: http://www.matsumoto-u.ac.jp/matsumoto_u/yume/